

ネオニコチノイド系粉剤で

斑点米カメムシ類を上手に防除しましょう

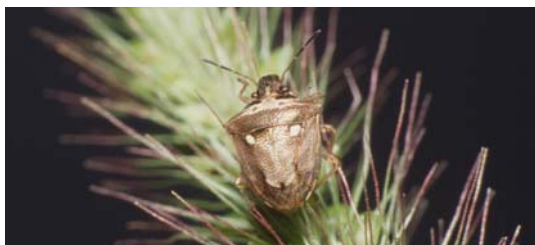
☀️ 防除効果が高く、**防除回数**の削減が可能です
【鳥取県で発生が多い斑点米カメムシ類】



クモヘリカメムシ



ホソハリカメムシ



トゲシラホシカメムシ



アカスジカスミカメ



ネオニコチノイド系粉剤
の1回散布は既存粉剤の
2回散布と同程度の防除
効果です

☀️ 既存粉剤より散布適期が長いです

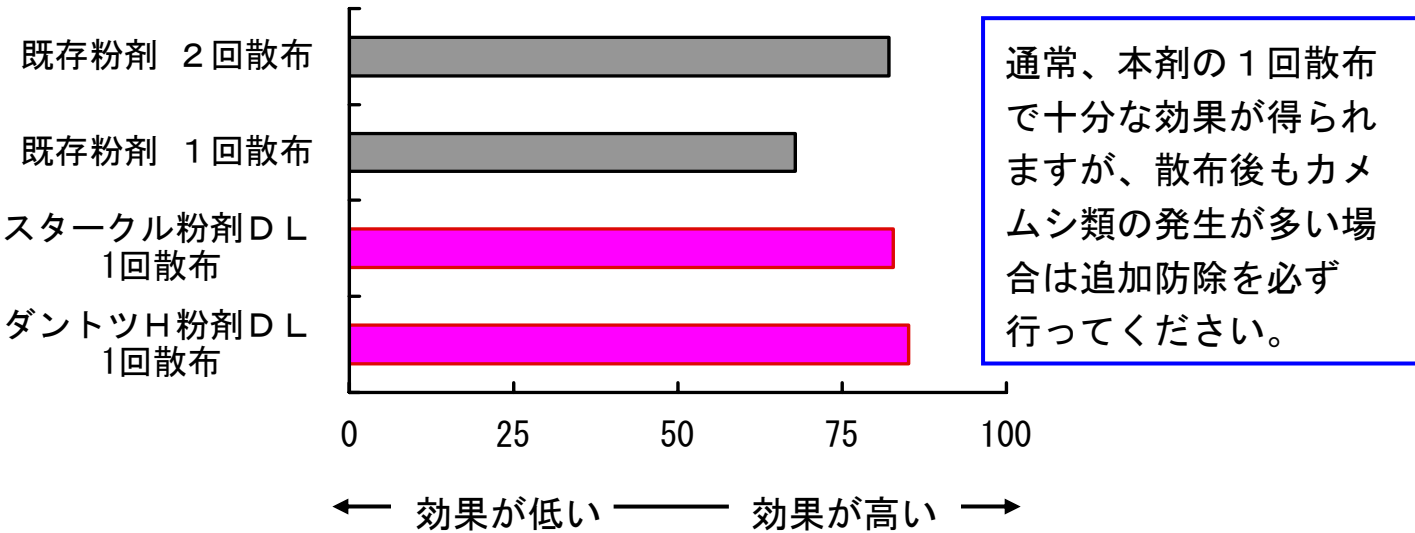
→カメムシ類の発生が少～中程度の場合、**出穂期から**

出穂10日後の間の1回散布でカメムシ類が防除できます

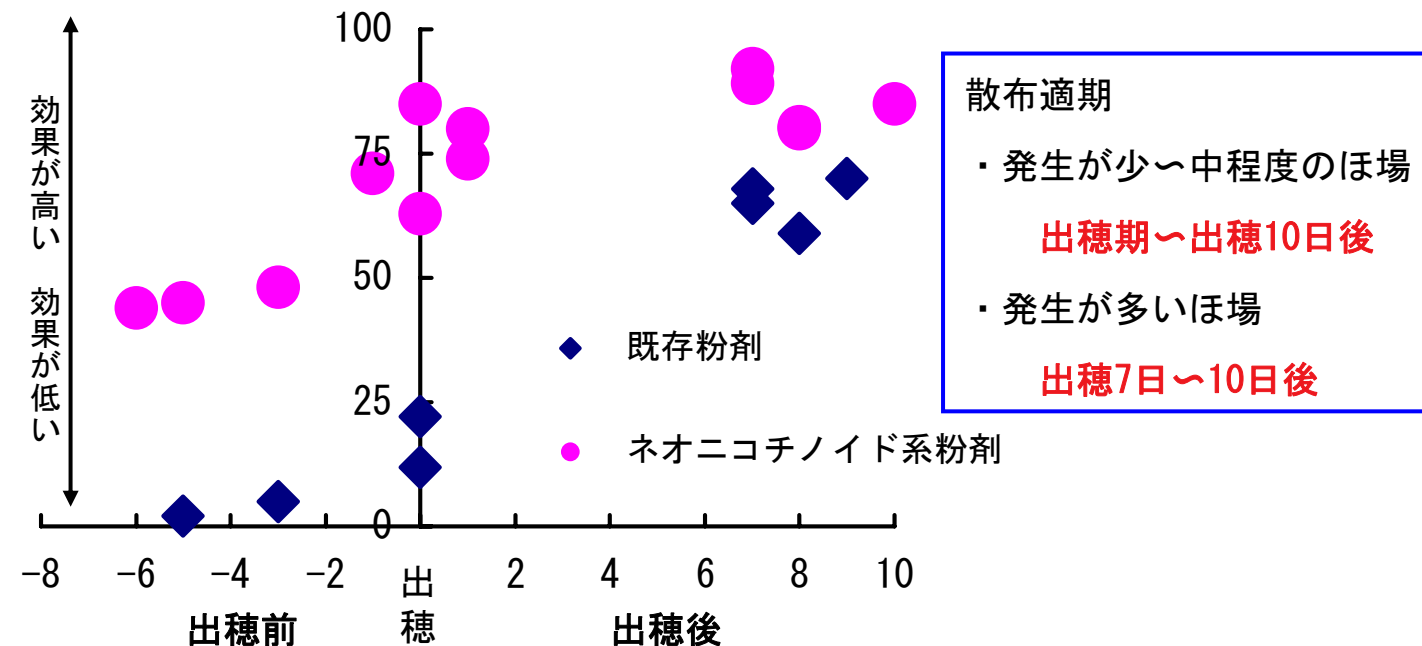
斑点米カメムシ類に対するネオニコチノイド系粉剤の防除効果の特徴

① 既存粉剤より防除効果が高く、防除回数が削減できます。

→ネオニコチノイド系粉剤の「出穂7～10日後の1回散布」は既存粉剤の「出穂7日後と14日後の2回散布」と同程度の防除効果です。



② 残効性に優れているので、散布適期が長いです。



③ スタークル粉剤DL (3kg/10a)、ダントツH粉剤DL (4kg/10a)、アルパリン粉剤DL (3kg/10a) またはこれらを含む混合剤のいずれかを使用してください。